

秋田おばこ農業協同組合

農産物検査業務規程

第 1 章 総 則

(総 則)

第 1 条 秋田おばこ農業協同組合（以下「組合」という。）が行う農産物検査法（昭和26年法律第144号。以下「法」という。）第2条第5項の登録検査機関（以下「登録検査機関」という。）として行う同条第1項の農産物検査（以下「農産物検査」という。）に関しては、この規程に定めるところによる。

(農産物検査の方針)

第 2 条 組合が行う農産物検査の方針は、次のとおりとし、すべての活動はこの方針に基づいて行うものとする。

- ① 農産物検査は公平、公正、迅速に行う。
- ② 農産物検査の信頼性確保のため、必要な技術的能力の維持・向上に努める。
- ③ 農産物検査の客観性及び公平性に関して他の業務部門からの影響を排除する。
- ④ 農産物検査制度の適正な運営に寄与する。

(法的地位及び責任)

第 3 条 組合は、定款の定めるところにより、法に基づく登録検査機関として農産物検査を行うものとする。

2 組合は、登録検査機関に与えられた権限を適正に行使するとともに、組合が行うすべての農産物検査に責任を負うものとする。

第 2 章 農産物検査を行う時間及び休日

(始業及び終業時刻)

第 4 条 農産物検査を行う時間は、8時30分から17時30分までとする。（休憩時間は12時00分から13時00分まで。）

2 前項の時刻は職員の全部又は一部につき、季節若しくはその他の事由によって、変更することができる。

(休日)

第5条 休日は次のとおりとする。

- ① 土曜日及び日曜日
- ② 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律178号）に規定する休日
- ③ 年末・年始（12月31日から1月3日まで）
- ④ その他組合が特に必要と認めた日

2 前項の休日は、職員の全部又は一部につき、季節若しくはその他の事由によって変更することができる。

第3章 農産物検査を行う農産物の種類、区域等

(農産物検査を行う農産物の種類)

第6条 組合は、国内産のもみ、玄米、小麦、大豆、そばについて検査を行う。

(農産物検査の登録の区分)

第7条 組合は、法第2条第3項の品位等検査を行う。

(農産物検査を行う区域)

第8条 組合が品位等検査を行う区域は、秋田県とする。

(農産物検査の請求の受付場所)

第9条 組合の農産物検査請求の受付場所は、別紙1のとおりとする。

(農産物検査を行う場所等及び農産物検査員の配置)

第10条 農産物検査を行う場所（以下「検査場所」という。）を管轄し、法第25条の帳簿の保存等農産物検査に関する事務を行う事務所、検査場所及び各検査場所に配置される法第17条第2項第1号の農産物検査員（以下「農産物検査員」という。）の数は、別紙2のとおりとする。

第4章 農産物検査の業務の実施

(農産物検査を行う者)

第11条 農産物検査は、第26条第1項の規定により検査場所において組合長が任命した農産物検査員が行う。

2 農産物検査員は、自ら指示することにより農産物検査実施業務のうち、次に掲げる業務を補助者に行わせることができるものとする。

- ① 検査試料の採取業務
- ② 量目検査における計量業務

- ③ 農産物検査法施行規則（昭和 26 年農林省令第 32 号。以下「規則」という。）第 10 条第 3 項の検査証明の押印業務

（農産物検査の請求の受理）

第12条 組合は、農産物検査の請求をしようとする者（以下「検査請求者」という。）から別紙様式による農産物検査に係る検査請求書（以下「検査請求書」という。）が提出されたときは、これを受理し、検査請求受付簿へ整理の上、農産物検査を行うものとする。

2 組合は、農産物検査に当たってはあらかじめ検査計画を策定するとともに検査請求の受理にあたっては、その内容を十分に確認するものとし、検査請求者の代理人が生産者に係る品位等検査の請求を行う場合にあつては、検査請求者からの品位等検査の検査請求に係る事務等を委任する旨の署名捺印のある文書があること又は、検査請求者と代理人との間で、すでにその旨の署名捺印をした文書がある場合にあつては、その文書をもって委任がなされていることを確認するものとする。

3 組合は、特別な理由がない限り、検査請求を拒否することはできないものとし、拒否する場合は、その理由を請求者に説明するものとする。

4 第 1 項の検査請求書は及び検査請求受付簿は、3 年間保存するものとする。

（農産物検査の受付の条件）

第13条 組合は、次に掲げる場合を除き、農産物検査員があらかじめ量目、荷造り及び包装についての規格に相当すると認めた農産物（包装されていないものにあつては、100キログラム以上に限る。）でなければ、農産物検査を行わない。なお、飼料用玄米及び米粉用米にあつては、1キログラム以上のものに限る。

- ① 量目についての条件を欠く米穀について、法第 5 条第 2 項（法第 34 条第 3 項において準用する場合を含む）の品位等検査を受ける場合（売買取引業者（流通段階）の検査）
- ② 法第 15 条第 2 項の品位等検査を受ける場合（検査が失効したものの検査）
- ③ 法第 34 条第 1 項の品位等検査を行う場合

2 「農産物検査に関する基本要領」（平成 21 年 5 月 29 日付け 16 総食第 231 号総合食料局長通知）1 の第 2 の 1 の（2）に規定する米穀の産地品種銘柄の選択銘柄は、次のとおりとする。

（水稻うるちもみ及び水稻うるち玄米）

道府県	品種
秋田県	淡雪こまち、きんのめぐみ、金のいぶき、キヨニシキ、コシヒカリ、ササニシキ、たかねみのり、でわひかり、ミルキークイーン、はえぬき、萌えみのり、ゆめおぼこ、亀の尾 4 号、秋田 63 号、秋のきらめき、つぶぞろい、ちほみのり

(水稻もちもみ及び水稻もち玄米)

道府県	品種
秋田県	朝紫、こがねもち、夕やけもち、ときめきもち

(醸造用玄米)

道府県	品種
秋田県	改良信交、美郷錦

なお、上記事項を設定(変更含む)した場合、速やかにホームページに掲載するとともに、東北農政局長に報告するものとする。

(受検のための準備)

第14条 組合は、請求者から検査請求書が提出されたときは、農産物検査を円滑かつ効率的に行う観点から、請求者に対して、次に掲げる受検のための準備を求めるものとする。

- ① 受検品に関する情報の提示(品種別作付面積等)
- ② 受検ロット編成時に必要な荷役労働力の提供等
- ③ 規則第10条第3項の様式の添付及び生産者記入欄の記載

(検査試料の採取)

第15条 検査試料の採取は、農林水産大臣が定める標準抽出方法に従って行うものとする。

(農産物検査の業務の実施方法)

第16条 農産物検査員は、規則第16条に規定する機械器具及びその他の設備(第34条において、「機械器具等」という。)を用い、農林水産大臣が定める鑑定方法及び標準計測方法に定めるところにより、検査を適正かつ円滑に行うものとする。

(検査証明)

第17条 検査証明は、法第13条第1項及び規則第10条の規定に従って行うものとする。なお、農産物検査員は検査証明の発行を行ったフレコンの注入口のしばりひもに封緘紙で封印を行う。

(農産物検査の結果の通知)

第18条 農産物検査員は、農産物検査の実施後速やかに検査証明書を請求者に通知するものとする。なお、農産物検査員は、別紙様式3号により農産物検査の実施後速やかに検査結果を請求者に通知するものとする。

(帳簿の作成及び保存)

第19条 組合は、検査請求者別検査台帳を作成し、5年間保存するものとする。帳簿については電子記録媒体に記録した電磁的記録として保存することができるものとする。

第5章 農産物検査手数料等

(検査手数料)

第20条 組合が行う品位等検査に係る検査手数料の額は、農産物の種類、量目、単位により別紙4の額とする。

(検査手数料の収納方法)

第21条 検査手数料は、現金または口座引き落としにより収納する。また、販売代金（仮渡金等）から収納することができる。

2 収納した検査手数料は、特別な事由がない限り、返還しないものとする。

(費用の負担等)

第22条 組合は、請求者に対して、検査試料の無償提供、農産物検査を行うために必要な農産物の積替え、運搬、開装又は改装に要する費用を要求するものとする。

第 6 章 農産物検査を行う組織

(組 織)

第23条 組合の農産物検査を行う組織は、農産物検査組織規程のとおりとする。

(組合長の責任)

第24条 組合長は、農産物検査に係る経営資源の確保、運営方針の策定、農産物検査の実施及び農産物検査の監督について責任を負うものとする。

(組合長の権限の委譲)

第25条 組合長は、その責任において、職制規程に基づき農産物の検査実施及び監督に係る権限を代理の者に委譲できるものとする。

(農産物検査員の任命)

第26条 組合長は、組合に所属し、規則第15条第1項の農林水産大臣が作成する名簿に登録された者を農産物検査員として任命する。

2 組合長は、前項の任命に際して、農産物検査員に対し法若しくは法に基づく命令の規定を遵守する旨の宣誓書を求めるものとする。

3 組合長は、前項で任命した農産物検査員の中から指導的農産物検査員を任命する。

(農産物検査員の職務)

第27条 農産物検査員の職務は、検査のための試料の採取、試料の検査、法第13条第1項の検査証明に係る業務とする。

2 農産物検査員は、組合長及び職制により定められた上司の命令に従い、公正かつ誠実に職務を行うものとする。

3 農産物検査員は、適確な農産物検査を行うため、検査技術等の維持・向上に努めるものとし、このため組合長が指定する研修を受講しなければならない。

4 農産物検査員は、職務上知り得た秘密を漏らし、又は自己の利益に使用してはならない。

第 7 章 検査の公正な実施のために必要な事項

(農産物検査員の教育及び訓練)

第28条 組合長は、検査精度の維持及び検査技術の向上を図るため、農産物検査員の教育及び訓練を行うものとする。

(内部監査)

第29条 組合長は、農産物検査に係る事務所及び農産物検査員に対する内部監査を定期的を実施するものとする。

2 内部監査の手順は、別途定める内部監査規程による。

(不適切な行為の防止等)

第30条 組合長は、関係法令及び関係通達に抵触する等農産物検査の業務の実施主体である登録検査機関として、不適切な行為の予防に努めなければならない。

2 組合長は、不適切な行為を発見したときは直ちにこれを是正するとともに、速やかに東北農政局長に不適切な行為があった事実及び是正のために講じた措置を報告しなければならない。

(国による調査の受け入れ)

第31条 組合は、国による調査があったときは、これを受け入れ協力するものとする。

(指導的農産物検査員の役割)

第32条 組合は、国が主催する会議等への参加要請があったときには、要請内容に応じて職員又は農産物検査員を参加させるものとする。

2 指導的農産物検査員は、第 28 条で定める検査精度の維持及び検査技術の向上を図るため、農産物検査員の教育及び訓練で組合長を補佐する。

(異議申立て、苦情及び紛争の処理)

第33条 組合は、請求者又はその他から持ち込まれる異議申し立て、苦情又は紛争について、誠意をもって適切に処理するものとする。

(機械器具等の保守点検)

第34条 組合は、農産物検査の円滑かつ適正な実施のため、毎年度機械器具等の保守点検を実施するものとする。なお、秤については計量法（平成 4 年法律第 51 号）に基づき保守点検を実施することを基本とし、狭間の年は、自主点検を行い記録する。

(等級証印及び農産物検査員の認印の管理)

第35条 組合は、等級証印及び農産物検査員の認印を適切に管理するため、「農産物検査用等級証印・検査員認印取扱要領」を定めて管理することとする。

2 農産物検査員の認印は、検査結果の証明以外に、第 12 条で定める検査請求書の受理、第 18 条で定める検査結果通知票の作成、また、検査結果通知票の控え及び第 20 条で定める検査手数料の領収印並びに包装容器の年産訂正についても押印する。

3 組合の認印に使用する登録検査機関の略称は「秋田県 J A 秋田おぼこ」とする。

(等級証印及び農産物検査員の認印の不正使用等)

第36条 組合の役職員は、等級証印及び農産物検査員の認印の不正使用を発見したときは、直ちに組合長に報告するものとする。

2 組合長は、前項の報告があった場合には、速やかに東北農政局長に報告する等適切な措置を講ずるとともに、東北農政局長の要請による調査等に協力するものとする。

(農産物検査の結果の報告)

第37条 組合長は、法又は法に基づく命令の定めるところにより、農林水産大臣へ必要な報告を遅延なく提出するものとする。

(その他)

第38条 この規程に定めるもののほか、検査に関し必要な事項は、別に組合長が定めるものとする。

(変更及び廃止)

第39条 この規程の一部変更及び廃止は、理事会の議決によって行う。

附 則

この規程は、平成13年4月24日から施行する

平成15年8月21日一部変更

平成16年4月1日一部変更

平成16年7月22日一部変更分は平成16年4月1日より施行する

平成17年8月24日一部変更分は平成17年8月1日より施行する

平成18年7月24日一部変更分は平成18年8月1日より施行する

この規程の一部変更は、平成19年2月16日より施行する

この規程の一部変更は、平成19年3月1日より施行する

平成19年6月22日一部変更分は平成19年4月1日より施行する

平成21年6月24日一部変更分は平成21年7月24日より施行する

平成22年5月31日一部変更分は平成22年6月1日より施行する

この規程の一部変更は、平成22年9月29日より施行する。

この規程の一部変更は、平成23年1月24日より施行する。

この規程の一部変更は、平成23年8月25日より施行する。

この規程の一部変更は、平成23年9月13日より施行する。

この規程の一部変更は、平成23年9月29日より施行する。

この規程の一部変更は、平成24年4月30日より施行する。

この規程の一部変更は、平成25年6月26日より施行する。

この規程の一部変更は、平成25年9月13日より施行する。

この規程の一部変更は、平成26年3月26日より施行する。

この規程の一部変更は、平成 26 年 8 月 28 日より施行する。

この規程の一部変更は、平成 26 年 9 月 30 日より施行する。

この規程の一部変更は、平成 27 年 8 月 31 日より施行する。

この規程の一部変更は、平成 27 年 9 月 11 日より施行する。

別紙 1

検査請求書の受付場所

秋田おばこ農業協同組合

検査施設課	秋田県大仙市佐野町5番5号
大曲営農センター	秋田県大仙市大曲日の出町二丁目5番10号
協和営農センター	秋田県大仙市協和境字野田97番地の8
西仙北営農センター	秋田県大仙市刈和野字愛宕下157番地4
神岡営農センター	秋田県大仙市神宮寺字西田15番地の1
南外営農センター	秋田県大仙市南外字赤平後野207番地の4
仙北営農センター	秋田県大仙市高梨字麻生田101番地
千畑営農センター	秋田県仙北郡美郷町土崎字上野乙1番地の10
中仙営農センター	秋田県大仙市長野字柳田24番地の3
太田営農センター	秋田県大仙市太田町太田字新田田尻3番地の13
角館営農センター	秋田県仙北市角館町小勝田下村15番地
西木営農センター	秋田県仙北市西木町上荒井字中屋敷79番地
田沢湖営農センター	秋田県仙北市田沢湖神代字街道南100番地の20
仙南営農センター	秋田県仙北郡美郷町境田字下八百刈266番地
六郷営農センター	秋田県仙北郡美郷町六郷字大町35番地
おばこライスターミナル	秋田県大仙市四ツ屋字切上10番地

- * 検査の受付場所として、各JAの本店・支店・CE等施設の事務所を指定し、受検者の利便に資することとする。

検査場所を管轄する事務所及び検査場所・検査員数

秋田おぼこ農業協同組合

事務所		検査場所		検査員数 (名以上)
名称	所在地	名称	所在地	
大曲支店	大仙市大曲日の出町二丁目5番10号	おぼこライス・大豆センター	大仙市四ツ屋字切上10番地	1
大曲支店	大仙市大曲日の出町二丁目5番10号	大曲角間川	大仙市角間川町字町頭172.173番地	1
大曲支店	大仙市大曲日の出町二丁目5番10号	大曲常保寺	大仙市花館字上殿屋敷24番地の1	1
大曲支店	大仙市大曲日の出町二丁目5番10号	大曲内小友	大仙市内小友字仙北屋54番地の3	1
協和支店	大仙市協和境字野田97番地	協和船岡	大仙市協和船岡字津野295番地	1
協和支店	大仙市協和境字野田97番地	協和荒川	大仙市協和境字野田12	1
協和支店	大仙市協和境字野田97番地	協和下淀川	大仙市協和下淀川字小林96.97番地	1
協和支店	大仙市協和境字野田97番地	たねっこライスセンター	大仙市協和小種字鏡台109-1	1
西仙北支店	大仙市刈和野字愛宕下157番地の4	強首大巻	大仙市大巻字宅地18番地の5	1
西仙北支店	大仙市刈和野字愛宕下157番地の4	強首乙越	大仙市強首字乙越39番地	1
西仙北支店	大仙市刈和野字愛宕下157番地の4	刈和野低温	大仙市北野目字三条川原66番地	1
西仙北支店	大仙市刈和野字愛宕下157番地の4	土川	大仙市土川字上野138番地	1
西仙北支店	大仙市刈和野字愛宕下157番地の4	強首CE	大仙市強首字二ツ橋133	1
神岡支店	大仙市神宮寺字西田15番地の1	神岡神宮寺駅前	大仙市神宮寺字本郷野23番地	1
神岡支店	大仙市神宮寺字西田15番地の1	神岡神宮寺	大仙市神宮寺字本郷野121番地	1
神岡支店	大仙市神宮寺字西田15番地の1	神岡CE	大仙市北檜岡字上龍蔵台191番地の1	1
南外支店	大仙市南外字山王台219番地の4	南外小出	大仙市南外字小出476番地の5	1
南外支店	大仙市南外字山王台219番地の4	南外高野	大仙市南外字赤平台野66番地の8	1
南外支店	大仙市南外字山王台219番地の4	南外CE	大仙市南外字梨田444番地の1	1
仙北支店	大仙市高梨字麻生田101番地	仙北麻生田	大仙市高梨字麻生田21番地	1
仙北支店	大仙市高梨字麻生田101番地	仙北福田	大仙市福田字穴沢14番地	1
仙北支店	大仙市高梨字麻生田101番地	仙北低温	大仙市弘田字下川原19番地の1	1
仙北支店	大仙市高梨字麻生田101番地	仙北高梨CE	大仙市高梨字麻生田121番地	1
仙北支店	大仙市高梨字麻生田101番地	仙北種子センター	大仙市板見内字穴沢2-1	1
千畑支店	仙北郡美郷町土崎字上野乙1番地の10	千畑本庫	仙北郡美郷町土崎字上野乙1番地の10	1
千畑支店	仙北郡美郷町土崎字上野乙1番地の10	千畑CE脇	仙北郡美郷町土崎字上野乙1番地の19	1
千畑支店	仙北郡美郷町土崎字上野乙1番地の10	千畑畑屋	仙北郡美郷町安城寺字柳原154番地	1
千畑支店	仙北郡美郷町土崎字上野乙1番地の10	千畑低温	仙北郡美郷町土崎字上野乙18番地の1	1
千畑支店	仙北郡美郷町土崎字上野乙1番地の10	千畑CE	仙北郡美郷町土崎字上野乙1番地の15	1
中仙支店	大仙市長野字柳田4番地	中仙長野	大仙市長野字柳田50番地	1
中仙支店	大仙市長野字柳田4番地	中仙豊川	大仙市豊川字街道添11番地の2	1
中仙支店	大仙市長野字柳田4番地	中仙豊岡	大仙市豊岡字上野14番地の3	1
中仙支店	大仙市長野字柳田4番地	中仙CE	大仙市北長野字蓬田102番地の3	1
中仙支店	大仙市長野字柳田4番地	中仙さくらファーム	仙北市角館町蘭田南釣田100-2	1
中仙支店	大仙市長野字柳田4番地	アグリサービス中仙	大仙市鑓見内字石持66番地	1
太田支店	大仙市太田町横沢字久保関北708番地の2	太田中央	大仙市太田町太田字新田田尻3番地の13	1
太田支店	大仙市太田町横沢字久保関北708番地の2	太田低温	大仙市太田町太田字新田田尻3番地の18	1
太田支店	大仙市太田町横沢字久保関北708番地の2	太田東	大仙市太田町齋内字高野339番地	1
太田支店	大仙市太田町横沢字久保関北708番地の2	太田CE	大仙市太田町太田字新田田尻94.95番地	1
角館支店	仙北市角館町小勝田下村15番地	角館角館	仙北市角館町小勝田下村15番地	1
西木支店	仙北市西木町上荒井字中屋敷79番地	西明寺	仙北市西木町門屋字六本杉88番地	1
田沢湖支店	仙北市田沢湖神代字古館野405番地の2	神代生田	仙北市田沢湖神代字街道南34番地の1	1
田沢湖支店	仙北市田沢湖神代字古館野405番地の2	手倉野	仙北市田沢湖生保内字小杉沢口68番地の3	1
田沢湖支店	仙北市田沢湖神代字古館野405番地の2	田沢湖CE	仙北市田沢湖神代字街道北496番地	1
田沢湖支店	秋田県仙北市田沢湖神代字古館野405番地の2	たざわこ地そば振興組合	秋田県仙北市田沢湖生保内字中宿72番地	1
仙南支店	仙北郡美郷町境田字下八百刈266番地	仙南	仙北郡美郷町上深井字耳取136番地の1	1
仙南支店	仙北郡美郷町境田字下八百刈266番地	仙南CE	仙北郡美郷町天神堂字木原203番地の1	1
六郷支店	仙北郡美郷町六郷字大町35番地	六郷	仙北郡美郷町六郷字住環南13番地	1
六郷支店	仙北郡美郷町六郷字大町35番地	六郷CE	仙北郡美郷町六郷字米清水73番地の1	1
本店	大仙市佐野町5番5号	おぼこRT	大仙市四ツ屋字切上10番地	1

※ 検査場所毎に検査員の配置人員を記入する。

別紙 3

検査格付結果通知票

伝票番号

検査請求年月日：		年産：	検査請求区分：	
検査年月日		生産者：		
流通区分		種類：	出荷業者等：	
産地：秋田	検査場所		市町村・集落：	
検査請求数量：		包装量目：		
伝票区分：		検査方法：	手続区分：	
検査区分：		引渡区分：	表示区分：	
地区区分：		買入区分：	品質区分：	
区分 1		区分 2	区分 3	
区分 4		区分 5	区分 6	
区分 7				
品 種 名 類 等 級 数 量 単 価 金 額 格 付 理 由 水 分				
皆掛： 風袋： 正味：			運賃区分	
秋田おぼこ農業協同組合				
平成 年 月 日		検査員名：J A秋田おぼこ		
殿				

別 紙 3

〒 利用者 様

平成 年産大豆
検査格付結果通知票

秋田おぼこ農業協同組合
営農経済部検査施設課
T E L 0187-86-0856

検査日	平成 年 月 日	明細書 No.	
検査場所		支店名	
品 種 名		集 落 名	
包 装		生産者コード	
検査請求数量		振 込 日	平成 年 月 日
水 分		起 算 日	平成 年 月 日
皆掛重量		振替口座番号	

等 級	粒 別				数量計	格 付 理 由
	大 粒	中 粒	小 粒	極小粒		
1 等						
2 等						
3 等						
合 格						
小 計						
格 外						
合 計						
豆契約数量計 (袋/30kg換算)			委託申込数量計 (袋/30kg換算)		前回までの検査数量計 (袋/30kg換算)	

控 除 項 目	控 除 金 額
合 計 (内消費税額)	

概 算 金 額	(A)
控除合計(税込)	(B)
差引支払金額	(A)-(B)
検査員氏名	

別 紙 3

住 所 _____

氏 名 _____

No. _____

平成 年産小麦検査格付結果通知票

検査請求年月日	平成 年 月 日	検査年月日					
検査請求者集落			検査請求者氏名				
産地	秋田	種類	普通小麦	出荷業者名	秋田おぼこ農業協同組合		
検査場所			包装・量目：紙袋				
品 種 名	等 級	数 量	単 価	金 額	格付理由	水 分	容積量
				検査機関	秋田おぼこ農業協同組合		
				検査員名			
平成年月日							
				殿			

別 紙 3

住 所 _____

氏 名 _____

No. _____

平成 年産そば検査格付結果通知票

検査請求年月日	平成 年 月 日	検査年月日					
検査請求者集落			検査請求者氏名				
産地	秋田	種類	普通そば	出荷業者名	秋田おぼこ農業協同組合		
検査場所			包装・量目：紙袋				
品 種 名	等 級	数 量	単 価	金 額	格付理由	水 分	容積量
				検査機関	秋田おぼこ農業協同組合		
				検査員名			
平成年月日							
				殿			

検査手数料額

秋田おぼこ農業協同組合

種 類	量 目	単 位	金 額	備 考
国内産 も み	20kgを超え45kg以下	1包装につき	50円	金額は消費税込
	20kg 以下	1包装につき	25円	金額は消費税込
	上記以外のもの	660kg 当たり	825円	金額は消費税込
国内産 玄 米	30kgを超え60kg以下	1包装につき	50円	金額は消費税込
	30kg 以下	1包装につき	25円	金額は消費税込
	上記以外のもの	1,020kg 当たり	850円	金額は消費税込
国内産 麦	30kgを超え60kg以下	1包装につき	30円	金額は消費税込
	30kg 以下	1包装につき	15円	金額は消費税込
	上記以外のもの	1,020kg 当たり	510円	金額は消費税込
国内産 大 豆	30kgを超え60kg以下	1包装につき	40円	金額は消費税込
	30kg 以下	1包装につき	20円	金額は消費税込
	上記以外のもの	1 トン当たり	630円	金額は消費税込
国内産 そ ば	22.5kg を超え 45kg 以下	1 包装につき	20 円	金額は消費税込
	22.5kg 以下	1 包装につき	10 円	金額は消費税込
	上記以外のもの	1 トン当たり	420円	金額は消費税込

※ 1円未満の端数があるときは、切捨とする。

※ 飼料用玄米及び米粉用米の検査手数料が、1円未満の場合は切り上げる。

別紙様式

検 査 請 求 書

受付	平成	年	月	日
	第			

1. 検査を受けようとする農産物

種 類	生産 年度	銘 柄	包装又は 容器の種類	量目	数量	検 査 手数料額	備 考
検 査 手 数 料 の 合 計 額							円

2. 希望受検場所

3. 希望受検期日 平成 年 月 日

上記により、農産物検査法第3条の品位等検査（米穀の品位等検査）を受けたいので請求します。

平成 年 月 日

検査請求者
住 所
氏名又は名称

印

登録検査機関

殿

別紙様式

検 査 請 求 書

受付	平成 年 月 日
	第 号

1. 検査を受けようとする農産物

種 類	生産年度	銘 柄	包装又は容器の種類	量目	数量	検 査 手数料額	備 考
検 査 手 数 料 の 合 計 額							円

2. 希望受検場所

3. 希望受検期日 平成 年 月 日

上記により、農産物検査法第6条の品位等検査（麦の品位等検査）を受けたいので請求します。

平成 年 月 日

検査請求者
住 所
氏名又は名称

印

登録検査機関

殿

別紙様式

検 査 請 求 書

受付	平成 年 月 日
	第 号

1. 検査を受けようとする農産物

種 類	生産年度	銘 柄	包装又は容器の種類	量目	数量	検 査 手数料額	備 考
検 査 手 数 料 の 合 計 額						円	

2. 希望受検場所

3. 希望受検期日 平成 年 月 日

上記により、農産物検査法第9条の品位等検査（米麦以外の農産物の品位等検査）を受けたいので請求します。

平成 年 月 日

検査請求者
住 所
氏名又は名称 印

登録検査機関 殿

別紙様式

検 査 請 求 書

受付	平成 年 月 日
	第 号

1. 検査を受けようとする農産物

種 類	生産 年度	銘 柄	包装又は 容器の種類	量目	数量	検 査 手数料額	備 考
検査手数料の合計額							円

2. 希望受検場所

3. 希望受検期日 平成 年 月 日

上記により、農産物検査法

第5条第1項の品位等検査
(検査を受けていない米穀の品位等検査)
第5条第2項の品位等検査(期間経過米検査)

平成 年 月 日

検査請求者
住 所
氏名又は名称

印

登録検査機関

殿

フレコン用封緘紙サイズ

